

厚生労働大臣 舩添 要一 殿

学校法人 久留米大学
理事長 平山 良

久留米大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	257 人
--------	-------

(注)前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数 単位 人

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医師	94	391.7	485.7	看護業務補助	31	診療エックス線技師	0
歯科医師	0	9.9	9.9	理学療法士	8	臨床検査技師	76
薬剤師	56	0.0	56.0	作業療法士	5	衛生検査技師	1
保健師	0	0.0	0.0	視能訓練士	3	その他	0
助産師	27	0.0	27.0	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	935	0.8	935.8	臨床工学技士	13	医療社会事業従事者	3
准看護師	9	0.0	9.0	栄養士	2	その他の技術員	21
歯科衛生士	3	0.5	3.5	歯科技工士	2	事務職員	84
管理栄養士	11	0.0	11.0	診療放射線技師	51	その他の職員	58

- (注)1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を少数点以下2を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	940.1 人	17.9 人	958.0 人
1日当たり平均外来患者数	1,837.9 人	100.8 人	1,938.7 人
1日当たり平均調剤数			3,740.9 剤

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨、頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	3人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・溶血性貧血症の病因解析ならびに遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	3人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	3人
・筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・SDI法による抗癌剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	4人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	5人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	19人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈的肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	10人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	26人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性黒色腫、乳癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・ <input type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	10人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・ ³¹ P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・特発性男性不妊症・性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・胎児尿路-羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・遺伝性コプロポルフィリン症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・悪性脳腫瘍に対する抗癌剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・Q熱診断における血清抗体価測定および病原体遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・エキシマレーザ冠動脈形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・樹状細胞と腫瘍抗原ペプチドを用いた癌ワクチン療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	52人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	10人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・末梢血管細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫神経疾患の診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類（歯科）	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	17人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	10人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・レーザー応用によるう蝕除去・スクーリングの無痛療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・耳鼻いんこう領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮筋症核摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input type="radio"/> 無	2人
・画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胎児心超音波検査	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・画像診断ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	17人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	10人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	5人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・先天性銅代謝異常の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・超音波骨折療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・眼底三次元画像解析	有・ <input type="radio"/> 無	10人
・CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・X線CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	0人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。
2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。
3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

その他

高度先進医療の種類	取扱患者数
ポジトロン断層画像による不安定プラークの検出	30人

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	212 人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	50 人
・多発性硬化症	86 人	・ウェゲナー肉芽腫症	135 人
・重症筋無力症	279 人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	184 人
・全身性エリテマトーデス	3,110 人	・多系統萎縮症	7 人
・スモン	2 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	17 人
・再生不良性貧血	729 人	・膿疱性乾癬	13 人
・サルコイドーシス	397 人	・広範脊柱管狭窄症	7 人
・筋萎縮性側索硬化症	43 人	・原発性胆汁性肝硬変	2,681 人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	658 人	・重症急性膵炎	2,570 人
・特発性血小板減少性紫斑病	48 人	・特発性大腿骨頭壊死症	256 人
・結節性動脈周囲炎	60 人	・混合性結合組織病	513 人
・潰瘍性大腸炎	294 人	・原発性免疫不全症候群	242 人
・大動脈炎症候群	91 人	・特発性間質性肺炎	1,392 人
・ピュルガー病	78 人	・網膜色素変性症	120 人
・天疱瘡	194 人	・プリオン病	1 人
・脊髄小脳変性症	82 人	・原発性肺高血圧症	241 人
・クローン病	86 人	・神経線維腫症	76 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	9 人	・亜急性硬化性全脳炎	1 人
・悪性関節リウマチ	1,925 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0 人
・パーキンソン病関連疾患	395 人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	3 人
・アミロイドーシス	114 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2 人
・後縦靭帯骨化症	344 人	・副腎白質ジストロフィー	2 人
・ハンチントン病	3 人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	140回/年	
剖検の状況	剖検症例数 65 例	剖検率 11.3 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
別紙				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 101

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
別紙			

計 164

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(単位:円)	補助元又は委託元名	
気管支喘息難治・重症化の病因・病態の解明に関する研究	相澤久道	呼吸器・神経・膠原病内科	1,400,000	補 給	厚生労働省
慢性閉塞性肺疾患に対する漢方治療の有用性評価	相澤久道	呼吸器・神経・膠原病内科	100,000	補 給	厚生労働省
炎症性サイトカインおよび酸化ストレス制御によるCOPD治療法の開発に関する研究	相澤久道	呼吸器・神経・膠原病内科	8,000,000	補 給	独立行政法人日本学術振興会
間質性肺炎発症における炎症性サイトカインIL-18とレドックス制御の関与の解明	星野友昭	呼吸器・神経・膠原病内科	7,400,000	補 給	独立行政法人日本学術振興会
抗癌剤による肺障害の分子機構解明と新規治療薬開発	星野友昭	呼吸器・神経・膠原病内科	1,700,000	補 給	文部科学省
血管内皮前駆細胞を用いた肝線維症に対する新しい細胞療法の開発	中村 徹	消化器内科	1,200,000	補 給	文部科学省
小胞体ストレスとマロリー体形成の関与について	花田慎一郎	消化器内科	1,000,000	補 給	文部科学省
サイトカインシグナル制御による肝炎、肝癌の予防	吉田隆文	消化器内科	1,400,000	補 給	文部科学省
血管内皮前駆細胞を用いたデリバリーシステムによる肝再生促進療法の確立	谷口英太郎	消化器内科	1,400,000	補 給	文部科学省
門脈圧亢進症における外因性エストロゲンの臨床応用	坂本雅晴	消化器内科	500,000	補 給	文部科学省
血管内皮前駆細胞を用いた炎症性腸疾患の治療戦略	光山慶一	消化器内科	700,000	補 給	文部科学省
脂肪肝、NASH治療薬としての腸管ペプチドPPY3-36の有効性に関する研究	上野隆登	消化器内科	900,000	補 給	文部科学省
C型肝炎ウイルスによるインスリン抵抗性発症の分子機構解明	佐田通夫	消化器内科	700,000	補 給	文部科学省
茶ポリフェノール成分による肝線維化と脂肪性肝炎の改善効果に関する研究	坂田隆一郎	消化器内科	700,000	補 給	文部科学省
前癌状態である扁平苔癬の発現とHCVによるインスリン抵抗性獲得との関連	長尾由実子	消化器内科	1,500,000	補 給	文部科学省
病期別にみた肝がん治療法の費用効果およびQOLの観点からみた有効性に関する研究	佐田通夫	消化器内科	1,000,000	補 給	厚生労働省
B型及びC型肝炎ウイルスの新たな感染予防法の確立のための感染病態解明に関する研究	佐田通夫	消化器内科	2,000,000	補 給	厚生労働省
B型及びC型肝炎ウイルス感染者に対する治療の標準化に関する臨床的研究	佐田通夫	消化器内科	1,000,000	補 給	厚生労働省
B型及びC型肝炎の疫学及び検診を含む肝炎対策に関する研究	佐田通夫	消化器内科	1,000,000	補 給	厚生労働省
肝炎ウイルス感染の肝外病変の基礎的及び臨床的包括研究	佐田通夫	消化器内科	6,000,000	補 給	厚生労働省
肝がん患者のQOL向上に関する研究	佐田通夫	消化器内科	2,000,000	補 給	厚生労働省
進行肝細胞癌に対する集学的治療確立に関する研究	佐田通夫	消化器内科	1,000,000	補 給	厚生労働省
いわゆる健康食品の健康影響と健康被害に関する研究	佐田通夫	消化器内科	750,000	補 給	厚生労働省
肝発癌にみられる細胞内シグナルの活性化機構とその抑制	佐田通夫	消化器内科	7,500,000	補 給	車両財団

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(単位:円)	補助元又は委託元名
FDG-PETを用いた動脈硬化病変の活動性と治療効果に対する新しい判定法の開発	田原宣広	心臓・血管内科	1,000,000	補 福田記念医療技術振興財団
FDG-PETを用いた動脈硬化病変の活動性と治療効果に対する新しい判定法の開発	田原宣広	心臓・血管内科	1,000,000	補 三井生命厚生事業団
FDG-PETを用いた動脈硬化病変の活動性と治療効果に対する新しい判定法の開発	田原宣広	心臓・血管内科	800,000	補 久留米大学石橋学術振興基金
動脈硬化病変の活動性に対する新しい判定法の開発 -FDG-PETによる	田原宣広	心臓・血管内科	500,000	補 木村記念循環器財団
動脈硬化病変の活動性と治療効果に対してFDG-PETを用いた新しい判定法の開発	田原宣広	心臓・血管内科	2,000,000	補 日本心臓財団
再灌流障害の新しい治療法の研究 -エラスボール冠注の効果	鬼塚一郎	心臓・血管内科	1,700,000	補 文部科学省
血管ミトコンドリア制御: metabolic syndrome抗動脈硬化治療	梅井秀和	心臓・血管内科	1,700,000	補 文部科学省
ヒトにおける終末糖化産物(AGEs)の脳・心血管病進展への影響	榎本美佳	心臓・血管内科	1,400,000	補 文部科学省
血管新生抑制因子の制御を応用した新しい細胞治療の開発	竹下吉明	心臓・血管内科	1,600,000	補 文部科学省
老化と血管新生の関連についての検討 -分子生物学見地からの検討	嶋田寿文	心臓・血管内科	1,700,000	補 文部科学省
色素上皮由来因子(PEDF)による血管内狭窄抑制効果の検討	中村和生	心臓・血管内科	1,800,000	補 文部科学省
バジャー病の虚血肢に認められる血管新生障害の基調となるメカニズム	佐々木健一郎	心臓・血管内科	2,100,000	補 文部科学省
血管再生による末梢動脈閉塞性疾患治療 -血管新生抑制因子の制御による新しい治療	今泉 勉	心臓・血管内科	3,700,000	補 日本私立学校振興・共済事業団
16α-6 骨髄幹細胞及び循環調節ペプチドを用いた心血管再生に関する他施設共同研究	今泉 勉	心臓・血管内科	1,500,000	補 厚生労働省
PEDFのがん・動脈硬化症治療への応用プロジェクト	山岸昌一	心臓・血管内科	40,000,000	補 文部科学省
スタチンはプラークの炎症を抑制する - ¹⁸ F-fluorodeoxyglucose positron emission tomographyに	田原宣広	心臓・血管内科	1,000,000	補 バイエル薬品(株)・木村記念循環器財団
バジャー病の虚血肢末梢に認められる血管新生障害の基調となるメカニズム	佐々木健一郎	心臓・血管内科	1,000,000	補 貝原守一医学振興財団
内因性一酸化窒素合成酵素阻害物質蓄積抑制による慢性腎疾患進展予防	上田 誠二	腎臓内科	1,800,000	補 文部科学省
Azelinidipine(およびOlmesartan)の糖尿病血管障害抑制作用の検討	奥田誠也	腎臓内科	5,500,000	補 三共株式会社
糖尿病性腎症進展における内因性NO合成酵素物質(ADMA)の役割	柴田 了	腎臓内科	800,000	補 文部科学省
腎不全進展における内因性NO合成酵素阻害物質(ADMA)の役割	松本有里子	腎臓内科	500,000	補 文部科学省
アドリマイシン(ADR)腎症における尿蛋白発症機序の解明-PEDFの役割-	藤村敏子	腎臓内科	500,000	補 文部科学省
造血器悪性腫瘍患者の包括的地域医療を目指した診療の構築	金地 泰典	血液内科	500,000	補 芸術文化活動助成金
凝固第XII因子を標的とした血栓症治療薬の開発	金地 泰典	血液内科	1,000,000	補 病態代謝研究会 研究助成金

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(単位:円)	補助元又は委託元名	
fMRIと探索眼球運動の同時記録を用いた統合失調症の情動認知障害の脳内病態の解明	前田久雄	精神神経科	1,900,000	補委	文部科学省 科学研究補助金 基盤研究(B)
日中の過眠の実態とその対策に関する研究	内村直尚	精神神経科	700,000	補委	厚生労働省 科学研究補助金 大川匡子
睡眠障害医療における政策医療ネットワーク構築のための医療機関連携のガイドライン作成に関する研究	内村直尚	精神神経科	600,000	補委	厚生労働省 精神神経疾患研究委託費 清水徹男
こころの健康づくりの目標達成のための休養・睡眠のあり方に関する根拠に基づく研究	内村直尚	精神神経科	600,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 内山 真
高校生および勤労者の睡眠不足による過眠に対する午睡導入の実証的研究	内村直尚	精神神経科	3,200,000	補委	文部科学省 科学研究補助金 基盤研究(C)
ストレス性精神障害の予防と介入に携わる専門職のスキル向上と情報データベース構築に関する研究	前田正治	精神神経科	800,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業 加藤 寛
精神政策医療ネットワークによる統合失調症の治療及び社会復帰支援に関する研究	内野俊郎	精神神経科	500,000	補委	厚生労働省 精神神経疾患研究委託費 塚田和美
「注意サイン」概念を用いた疾患非特異的な集団認知行動療法の実践と効果	大江美佐里	精神神経科	400,000	補委	(財)メンタルヘルス岡本記念財団 研究活動助成金
ライゾゾーム病(ファブリー病含む)に関する調査研究	芳野 信	小児科	1,300,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患研究事業
わが国の21世紀における新生児スクリーニングのあり方に関する研究	芳野 信	小児科	150,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金 子ども家庭総合研究事業
ウィルソン病等における血中セルロプラスミン分子の構造解析	渡邊 順子	小児科	1,200,000	補委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
MELASに対するL-アルギニン治療(AJA030/AJA001)の治験研究	古賀靖敏	小児科	5,000,000	補委	日本医師会治験促進センター(治験推進研究事業)
ミトコンドリア脳筋症の分子病態解明と新規治療法の開発	古賀靖敏	小児科	1,000,000	補委	国立精神・神経センター(厚生労働省精神・神経委託費)
ミトコンドリア・核ゲノム関連遺伝子情報ネットワークの解明	古賀靖敏	小児科	2,700,000	補委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B)
早期老化モデルマウスを用いたエネルギー産生機能異常の分子基盤解明	秋田幸大	小児科	1,300,000	補委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(単位:円)	補助元又は委託元名	
抗SSA抗体による胎児房室結節伝導障害の出生前早期診断法・治療法開発に関する研究	前野泰樹	小児科	800,000	補 委	平成18年度科学研究費 基盤研究(C) 継続
青年期に達した先天性心疾患患者のQOL	牟田広実	小児科	1,100,000	補 委	平成18年度科学研究費 若手研究(B) 新規
胸部食道癌に対する集学治療の研究 —手術は必要か—	藤田博正	医学部	1,100,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
肺癌間質における炎症応答と癌増殖	高森信三	医学部	1,700,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
胃癌腹膜播種モデルを用いた腹膜播種にたいする分子標的治療の有効性に関する検討	青柳慶史朗	医学部	900,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
乳癌における分子標的薬剤に対する薬剤感受性の制御と個別化治療の展開	藤井輝彦	医学部	1,000,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
消化器癌に対する非骨髄抑制性抗癌剤併用免疫細胞療法についてに研究開発	唐 宇飛	医学部	900,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
トラスツマブにより誘導される担癌生体における腫瘍特異的細胞性免疫についての研究	中川志乃	医学部	2,100,000	補 委	文部科学省
消化器癌におけるプロテアソーム阻害薬を応用した抗癌剤併用免疫細胞療法の開発研究	宮城委史	医学部	2,100,000	補 委	文部科学省
乳癌細胞における細胞内シグナル伝達の役割とその臨床応用	横山吾郎	医学部	700,000	補 委	文部科学省
低位直腸がん手術における肛門温存療法の開発に関する研究	白水和雄	医学部	1,200,000	補 委	厚生労働省
臨床病期Ⅲの下部直腸がんに対する側方リンパ節郭清術の意義に関するランダム化 比較試験	白水和雄	医学部	1,000,000	補 委	厚生労働省
再発高危険群の大腸がんに対する術後補助化学療法に関する研究	白水和雄	医学部	1,000,000	補 委	厚生労働省
大腸がん肝転移症例の術後補助化学療法に関する研究	白水和雄	医学部	1,000,000	補 委	厚生労働省
ヒト骨転移腫瘍における特異的標的タンパク質の発見と新しい予防的治療戦略の構築	永田見生	整形外科	3,300,000	補 委	文部科学省

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(単位:円)	補助元又は委託元名
悪性腫瘍における分子標的を用いた転移の制御	平岡弘二	整形外科	1,900,000	補 文部科学省
厚生労働省難治性疾患克服研究事業 脊柱靭帯骨化症に関する調査研究班分 担研究	永田見生	整形外科	800,000	補 厚生労働省
骨の再生医療を目指した基礎研究	力丸 英明	形成外科・ 顎顔面外 科	1,000,000	補 株式会社 九電工
重症頭部外傷に対する標的治療としての 微低体温療法の確立	重森 稔	脳神経外科	700,000	補 文部科学省科学研究費補助金
脳外傷による高次脳機能障害の追跡調査	重森 稔	脳神経外科	1,900,000	補 JA共済総合研究所
抗基底膜部自己免疫性水疱症の反応性 に対応するヘミデスマソーム蛋白プロセ シンの関与	橋本 隆	皮膚科	1,000,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
Peeling skin syndromeの責任遺伝子同定 についての研究	濱田 尚宏	皮膚科	1,700,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
単純ヘルペスに関連した多形紅斑におけ る末梢血幹細胞のウイルス運搬機能の 後天性表皮水疱症エピソードの多角的解 析と検討	小野 文武 石井 文人	皮膚科 皮膚科	1,100,000 1,100,000	補 文部科学省 科学研究費補助金 補 文部科学省 科学研究費補助金
浸潤性膀胱癌の予後改善をめざした集学 的治療の研究	松岡 啓	泌尿器科	500,000	補 厚生労働科学研究費補助
早期前立腺癌における根治術後の再発 に対する標準的治療法の確立に関する 進行癌に対するテーラーメイドペプチドワ クチン開発	松岡 啓	泌尿器科	1,000,000	補 厚生労働科学研究費補助
18F-FDG PETによる乳癌の分子病理学に 基づく細胞特性の解析とその臨床応用	石橋正敏	放射線科	700,000	補 文部科学省科学研究費補助金
肝胆膵領域の高精細異時相融合画像と 簡易動画表示の研究	内田政史	放射線科	1,300,000	補 文部科学省科学研究費補助金
STIR法、拡散強調画像併用MRIを用いた 肺癌並びにリンパ節転移診断	藤本公則	画像診断セ ンター	1,100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
乳房温存療法後の照射野外肺病変の研 究	淡河恵津世	放射線治 療センター	900,000	補 文部科学省科学研究費補助金
MT subtraction法を用いた高分解能軟骨 三次元表示MRIの研究	長田周治	放射線科	500,000	補 文部科学省科学研究費補助金
放射線性皮膚炎に対する低反応レベル レーザーの臨床的効果に関する研究	鈴木 弦	放射線治 療センター	500,000	補 文部科学省科学研究費補助金
慢性閉塞性肺疾患の気道変化:マルチス ライスCTを用いた新しい評価	佐土原順子	放射線科	700,000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔癌の新しい治療戦略に向けてー特に 頸部リンパ節転移に対する新しいHSV-1 ベクター開発の基礎的研究ー	岩本 修	歯科口腔 医療セン ター	1,400,000	補 文部科学省科学研究費 (基盤研究C)
IL-18のもたらす抗腫瘍効果についての 研究 ーマクロファージ発現系IL-18トランスジェ ニック・マウスを使用した解析ー	関 直子	歯科口腔 医療セン ター	1,300,000	補 文部科学省科学研究費 (基盤研究C)
口腔癌患者に対するテーラーメイド型ペ プチドワクチン療法についての基礎的研 究	矢毛石 玲	歯科口腔 医療セン	800,000	補 文部科学省科学研究費 (若手研究B)
睡眠時無呼吸症候群に対する口内治療 装置の開発	楠川 仁悟	歯科口腔 医療セン	2,000,000	補 都市エリア産学官連携促進事業 (発展型)
				補
				補
				補

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合には「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuropathology	Quantitative analysis of neurofibrillary pathology in a general population to reappraise neuropathological criteria for senile dementia of the neurofibrillary tangle type (tangle-only dementia): the Hisayama Study.	Noda K, Sasaki K, Fujimi K, Wakisaka Y, Tanizaki Y, Wakugawa Y, Kiyohara Y, Iida M, Aizawa H, Iwaki T.	呼吸器・神経・膠原病内科
Respiratory medicine	Exophiala dermatitidis infection in non-cystic fibrosis bronchiectasis.	Mukaino T, Koga T, Oshita Y, Narita Y, Obata S, Aizawa H.	呼吸器・神経・膠原病内科
Respiratory medicine	Characterisation of patients with frequent exacerbation of asthma.	Koga T, Oshita Y, Kamimura T, Koga H, Aizawa H.	呼吸器・神経・膠原病内科
Lancet	Ethnic inequalities in health: socioeconomy, tobacco use, and obesity.	Koga T, Kawaguchi A, Aizawa H.	呼吸器・神経・膠原病内科
Lancet	Physical activity and cardiovascular risk in children.	Koga T, Kawaguchi A, Aizawa H.	呼吸器・神経・膠原病内科
J Asthma	Determinants of bronchodilator responsiveness in patients with controlled asthma.	Koga T, Kamimura T, Oshita Y, Narita Y, Mukaino T, Nishimura M, Mizoguchi Y,	呼吸器・神経・膠原病内科
Inflammation Research	Attenuation of experimental colonic injury by thiazolidinedione agents	Keiichi Mitsuyama	消化器内科
Int J Mol Med	Pro-inflammatory signaling by Jun-N-terminal kinase in inflammatory bowel disease	Keiichi Mitsuyama	消化器内科
Int J Mol Med	Antibody to hepatitis B core antigen is associated with the development of hepatocellular carcinoma in hepatitis C virus-infected persons: a 12-year prospective study	Kazuo Tanaka	消化器内科
Int J Mol Med	Role of vascular endothelial growth factor in protein loss of Menetrier's disease	Keiichi Mitsuyama	消化器内科
Int J Oncol	The up-regulation of type I interferon receptor gene plays a key role in hepatocellular carcinoma cells in the synergistic antiproliferative effect by 5-fluorouracil and interferon-alpha	Takato Ueno	消化器内科
J Clin Gastroenterol	Surveillance program for early detection of hepatocellular carcinoma in Japan: results of specialized department of liver disease	Eiji Ando	消化器内科
J Gastroenterol	Modulation of platelet aggregation responses by leukocytapheresis therapy in patients with active ulcerative colitis	Keiichi Mitsuyama	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol	Clinical features of hepatocellular carcinoma that occur after sustained virological response to interferon for chronic hepatitis C	Michio Sata	消化器内科
J Immunol	Nonmutated self-antigen-derived cancer vaccine peptides elicit an IgE-independent but mast cell-dependent immediate-type skin reaction without systemic anaphylaxis	Yukari Takao	消化器内科
Life Sciences	Pigment epithelium-derived factor (PEDF) blocks the interleukin-6 signaling to C-reactive protein	Takafumi Yoshida	消化器内科
Liver Int	Value of fusing PET plus CT images in hepatocellular carcinoma and combined hepatocellular and cholangiocarcinoma patients with extrahepatic metastases: preliminary findings	Sakae Nagaoka	消化器内科
Liver Int	Clinical features of hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma and their association with alpha-fetoprotein and protein induced by vitamin K absence or antagonist-II	Yoichi Yano	消化器内科
Mediators Inflamm	Interleukin-10 in the pathophysiology of inflammatory bowel disease: increased serum	Keiichi Mitsuyama	消化器内科
Med Mol Morphol	Angiogenic cell therapy for hepatic fibrosis	Takato Ueno	消化器内科
Med Mol Morphol	Liposome-mediated gene transfer of K1-5 suppresses tumor development and improves the prognosis of hepatocellular carcinoma in mice	Takuji Torimura	消化器内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Microbiol Immunol	New Epitope Peptides Derived from Hepatitis C Virus (HCV) 2a Which Have the Capacity to Induce Cytotoxic T Lymphocytes in HLA-A2(+) HCV-Infected Patients	Michio Sata	消化器内科
Nutrition	Bifidogenic growth stimulator for the treatment of active ulcerative colitis: a pilot study	Asuka Suzuki	消化器内科
Oncogene	Spreads, inhibitors of the Ras/ERK signal transduction, are dysregulated in human hepatocellular carcinoma and linked to the malignant phenotype of tumors	Takafumi Yoshida	消化器内科
Pediatr Int	Late-onset ornithine transcarbamylase deficiency in male patients: prognostic factors and characteristics of plasma amino acid profile	Ryukichi Kumashiro	消化器内科
Diabetologia	Telmisartan inhibits AGE-induced C-reactive protein production through downregulation of the	Takafumi Yoshida	消化器内科
Dig Dis Sci	Increased Circulating Concentrations of Growth-Related Oncogene (GRO)-alpha in Patients with Inflammatory Bowel Disease	Keiichi Mitsuyama	消化器内科
Dig Dis Sci	A decrease in AFP level related to administration of interferon in patients with chronic hepatitis C and a high level of AFP	Shiro Murashima	消化器内科
FEBS Lett	Pigment epithelium-derived factor (PEDF) inhibits advanced glycation end product (AGE)-induced C-reactive protein expression in hepatoma cells by suppressing Rac-1 activation	Takafumi Yoshida	消化器内科
Gastroenterology	Endothelial progenitor cell transplantation improves the survival following liver injury in mice	Eitaro Taniguchi	消化器内科
Gastroenterology	Gene transfer of kringle 1-5 suppresses tumor development and improves prognosis of mice with hepatocellular carcinoma	Takuji Torimura	消化器内科
Gut	STAT3 activation via interleukin 6 trans-signalling contributes to ileitis in SAMP1/Yit mice	Keiichi Mitsuyama	消化器内科
Hepatogastroenterol	Usefulness of serum hepatic fibrosis markers in the diagnosis of nonalcoholic steatohepatitis(NASH)	Nozomi Sasaki	消化器内科
Hepatol Res	Timing of interferon therapy and sources of infection in patients with acute hepatitis C	Kei Ogata	消化器内科
Hepatol Res	Granulocytapheresis (GCAP) for severe alcoholic hepatitis-A preliminary report	Ryukichi Kumashiro	消化器内科
BMC Cancer	Cell cycle regulation by the Wee1 inhibitor PD0166285, pyrido [2,3-d] pyrimidine, in the B16 mouse melanoma cell line	Osamu Hashimoto	消化器内科
Cancer Res	Luteolin promotes degradation in signal transducer and activator of transcription 3 in human hepatoma cells: an implication for the antitumor potential of flavonoids	Hironori Koga	消化器内科
Cancer Sci	High expression of insulin-like growth factor binding protein-3 is correlated with lower portal invasion and better prognosis in human hepatocellular carcinoma	Michio Sata	消化器内科
Clin Exp Immunol	Activation of c-Jun N-terminal kinase (JNK) signalling in experimentally induced gastric lesions in rats	Keiichi Mitsuyama	消化器内科
Clin Exp Immunol	A form of circulating interleukin-6 receptor component soluble gp130 as a potential interleukin-6 inhibitor in inflammatory bowel disease	Keiichi Mitsuyama	消化器内科
Clin Gastroenterol Hepatol	Curcumin maintenance therapy for ulcerative colitis: randomized, multicenter, double-blind, placebo-controlled trial	Keiichi Mitsuyama	消化器内科
Curr Ther Res Clin Exp	Postmarketing surveillance of rabeprazole in upper gastrointestinal peptic lesions in Japanese patients with coexisting hepatic disorders	Michio Sata	消化器内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur Heart J	The prevalence of inflammation in carotid atherosclerosis: analysis with fluorodeoxyglucose positron emission tomography.	田原宣広	心臓・血管内科
J Am Coll Cardiol	Vascular inflammation evaluated by [18F]-fluorodeoxyglucose positron emission tomography is associated with the metabolic syndrome.	田原宣広	心臓・血管内科
J Am Coll Cardiol	Simvastatin attenuates plaque inflammation: evaluation by fluorodeoxyglucose positron emission	田原宣広	心臓・血管内科
Proc Natl Acad Sci U S A	Ex vivo pretreatment of bone marrow mononuclear cells with endothelial NO synthase enhancer AVE9488 enhances their functional activity for cell	佐々木健一郎	心臓・血管内科
J Jpn Coll Angiol	末梢動脈 自己骨髄単核球移植による重症虚血肢の治療: 治療効果に対する影響因子についての検討	勝田洋輔	循環器病研究所
J Clin Endocrinol Metab	Elevated serum levels of pigment epithelium-derived factor in the metabolic syndrome.	山岸昌一	心臓・血管内科
Ann Vasc Surg	The prostacyclin analog beraprost sodium augments the efficacy of therapeutic angiogenesis induced by autologous bone marrow cells.	大塚裕之	外科
MOL MED	Oral Adsorbent AST-120 Decreases Serum Levels of AGEs in Patients with Chronic Renal Failure	上田 誠二	腎臓内科
Clin Exp Nephrol	Carbonic-adsorbent AST-120 reduces overload of indoxyl sulfate and the plasma level of TGF- β 1 in patients with chronic renal failure.	飯田 修司	腎臓内科
Vasc Dis Prevent	Asymmetric dimethylarginine (ADMA) and cardiovascular disease.	上田 誠二	腎臓内科
J Am Soc Nephrol	Molecular mechanism for elevation of asymmetric dimethylarginine and its role for hypertension in chronic kidney disease.	松隈 京子	腎臓内科
血液フロンティア	骨髄線維症	岡村 孝	血液内科
血液・腫瘍科	腹部超音波エコーによる門脈血流と肝VODの早期発	橋口道俊、岡村孝	血液内科
Acta Haematologica	Simultaneous Hepatic Relapse of Non-Hodgkins Lym	Ohtsubo K, Oku E, Imamura R, Seki R, Hashiguchi M, Osaki K, Yakushiji K, Yoshimoto K, Ogata H, etc.	血液内科
Thrombosis and haemostasis	Factor XII gene (F12) -4C/C polymorphism in combin	Kanaji T, Watanabe K, Hattori S, Urata M, Iida H, Kinoshita S, Kayamori Y, Kang D, Hamasaki N.	血液内科
International immunology	Involvement of IL-32 in activation-induced cell death	Goda C, Kanaji T, Kanaji S, Tanaka G, Arima K, Ohno S, Izuhara K.	血液内科
The Journal of allergy and clin	Periostin:a novel component of subepithelial fibrosis	Takayama G, Arima K, Kanaji T, Toda S, Tanaka H, Shoji S, McKenzie AN, Nagai H, Hotokebuchi T, Izuhara K.	血液内科
脳と精神の医学	fMRIによる急性期及び回復期の統合失調症者における表情認知の研究	井上雅之、森田喜一郎、上野雄文、小路純央、西浦佐知子、土井亮、安陪等思、前田久雄	精神神経科
国際医療福祉大学紀要	恐怖症性不安障害者における視覚刺激による認知療法の精神生理学的検討	中山広宣、森田喜一郎、奈良進弘、五十君啓泰、前田久雄	精神神経科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床神経生理学	恐怖症性不安障害者における薬物療法と視覚認知訓練の併用による効果の精神生理学的検討 —探索眼球運動評価を用いて—	中山広宣、森田喜一郎、奈良進弘、五十君啓泰、前田久雄	精神神経科
臨床脳波	PSG共通データを用いた睡眠段階判定における問題点の検討	桑原啓郎、内村直尚、小川清司、大木薫、大島悦子、森樺康貴、小城鶴美、宮地律子、大仁田美和、大田裕明、高良史司、山口由美子、城間清美、財部初美、前田久雄	精神神経科
新薬と臨床	睡眠パラメータCAPを用いたゾルピデムの精神生理性不眠症患者における睡眠の質(安定性)に対する検討 —プラセボを対照とした無作為化クロスオーバー比較試験での検討—	小曾根基裕、八木朝子、伊藤洋、田村義之、井上雄一、内村直尚、佐々木三男、Mario Giovanni Terzano、清水徹男	精神神経科
トラウマティック・ストレス	産業施設災害が及ぼす心理的影響 —対処行動とトラウマ症状に関する諸考察—	大江美佐里	精神神経科
日本社会精神医学会雑誌	統合失調症に対する社会的距離尺度(SDSJ)の作成と信頼性の検討	牧田潔	精神神経科
Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry 2006	Effect of zolpidem on sleep architecture and its next-morning residual effect in insomniac patients.	Uchimura N, Nakajima T, Hayashi K, Nose I, Hashizume Y, Ohyama T, Habukawa M, Kotorii N, Kuwahara H, Maeda H	精神神経科
Psychiatr Genet 2006	An association study between catechol-O-methyl transferase gene polymorphism and methamphetamine psychotic disorder.	Suzuki A, Nakamura K, Sekine Y, Minabe Y, Takei N, Suzuki K, Iwata Y, Kawai M, Takebayashi K, Matsuzaki H, Iyo M, Ozaki N, Inada T, Iwata N, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sora I, Ujike H, Mori N	精神神経科
Hum Genet 2006	Association analysis of SOD2 variants with methamphetamine psychosis in Japanese and Taiwanese populations.	Nakamura K, Chih-Ken Chen, Sekine Y, Iwata Y, Anitha A, El-Wui Loh, Takei N, Suzuki A, Kawai M, Takebayashi K, Suzuki K, Minabe Y, Tsuchiya K, Yamada K, Iyo M, Ozaki N, Inada T, Iwata N, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sora I, Ujike H,	精神神経科
Neurosci Lett 2006	Genetic variant of prodynorphin gene is risk factor for methamphetamine dependence	Nomura A, Ujike H, Tanaka Y, Otani K, Morita Y, Kishimoto M, Morio A, Harano M, Inada T, Yamada M, Komiyama T, Sekine Y, Iwata N, Sora I, Iyo M, Ozaki N, Kuroda S	精神神経科
Pharmacogenomics J 2006	Linkage disequilibrium and association with methamphetamine dependence/psychosis of μ opioid receptor gene polymorphisms.	Ide S, Kobayashi H, Ujike H, Ozaki N, Sekine Y, Inada T, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Iyo M, Iwata N, Tanaka K, Shen H, Iwahashi K, Itokawa M, Minami M, Satoh M, Ikeda K,	精神神経科
Int J Neuropsychopharmacol 2006	Positive association of AKT1 haplotype to Japanese methamphetamine use disorder.	Ikebe M, Iwata N, Suzuki T, Kitajima T, Yamanouchi Y, Kinoshiya Y, Sekine Y, Iyo M, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sora I, Ujike H, Inada T, Ozaki N	精神神経科
Alcohol Clin Exp Res 2006	Association between gene polymorphisms of SLC22A3 and methamphetamine use disorder.	Aoyama N, Takahashi N, Kitaichi K, Ishihara R, Saito S, Maeda N, Ji X, Takagi K, Sekine Y, Iyo M, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sora I, Ujike H, Iwata N, Inada T, Ozaki N	精神神経科
Ann N.Y Acad Sci 2006	Association study of the dihydropyrimidinase-related protein 2 gene and methamphetamine psychosis.	Ujike H, Sakai A, Nakata K, Tanaka Y, Kodama T, Okahisa Y, Harano M, Inada T, Yamada M, Komiyama T, Hori T, Sekine Y, Iwata N, Sora I, Iyo M, Ozaki N, Kuroda S	精神神経科
Ann N.Y Acad Sci 2006	Association study of the tumor necrosis factor- α gene and its 1A receptor gene with methamphetamine dependence.	Nomura A, Ujike H, Takata Y, Kishimoto M, Otani K, Morita Y, Morio A, Harada M, Inada T, Yamada M, Komiyama T, Hori T, Sekine Y, Iwata N, Sora I, Iyo M, Ozaki N, Kuroda S	精神神経科
Ann N.Y Acad Sci 2006	No association between CART (Cocaine-and Amphetamine-Regulated Transcript) gene and methamphetamine dependence.	Morio A, Ujike H, Nomura A, Tanaka Y, Morita Y, Otani K, Kishimoto M, Harano M, Inada T, Komiyama T, Yamada M, Sekine Y, Iwata N, Iyo M, Sora I, Ozaki N, Kuroda S	精神神経科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American Journal of Medical Genetics 2006	Association analysis of δ -opioid receptor gene polymorphisms in methamphetamine dependence/psychosis.	Kobayashi H, Hata H, Ujike H, Harano M, Inada T, Komiyama T, Yamada M, Sekine Y, Iwata N, Iyo M, Ozaki N, Itokawa M, Naka M, Ide S, Ikeda K, Numachi Y,	精神神経科
American Journal of Medical Genetics 2006	Cross-population validation of schizophrenia-association and functional analysis on mRNA Expression and electrophysiological properties of two isoforms of GABRB2.	Wing Sze Lo, Cunyou Zhao, Zhi Wen Xu, Jianhuan Chen, Zhiliang Yu, Frank W Pun, Ka-Lok Tong, Siu-Kin Ng, Shui-Ying Tsang, Harano M, Micha Gawlik, Uchimura N, Gerald Stober, Hong Xue	精神神経科
American Journal of Medical Genetics 2006	Association study between the NrCAM gene and patients with methamphetamine use disorders.	Okahisa Y, Ujike H, Tanaka Y, Otani K, Morita Y, Kishimoto M, Morio A, Inada T, Harano M, Komiyama T, Hori T, Yamada M, Sekine Y, Iwata N, Iyo M, Sora I, Ozaki N, Kuroda S	精神神経科
American Journal of Medical Genetics 2006	The Frizzled 3 (FZD3) gene is associated with methamphetamine psychosis.	Kishimoto M, Ujike H, Tanaka Y, Otani K, Morita Y, Morio A, Okahisa Y, Kotaka T, Harano M, Inada T, Yamada M, Komiyama T, Hori T, Sekine Y, Iwata N, Sora I, Iyo M, Ozaki N, Kuroda S	精神神経科
Biol Psychiatry 2006	GABRB2 association with schizophrenia : commonalities and differences between ethnic groups and clinical Subtypes.	Wing-Sze Lo, Harano M, Micha Gawlik, Zhiliang Yu, Jianhuan Chen, Frank W.Pun, Ka-Lok Tong, Cunyou Zhao, Siu-Kin Ng, Shui-Ying Tsang, Uchimura N, Gerald Stober, Hong Xue	精神神経科
Biological Psychology 2006	Association between the scores on the general health questionnaire-28 and the saliva levels of 3-methoxy-4-hydroxyphenylglycol in normal	G.Y.Li, Ueki H, Yamamoto Y, Yamada S	精神神経科
Sleep and Biological Rhythms 2006	Evaluation of the effects of paroxetine in the treatment of REM sleep behavior disorder.	Yamamoto K, Uchimura N, Habukawa M, Takeuchi N, Oshima H, Oshima M, Maeda H	精神神経科
Journal of Neurophysiology 2006	Dopamine presynaptically depresses fast inhibitory synaptic transmission via D4 receptor-protein kinase A pathway in the rat dorsolateral septal	Asaumi Y, Hasuo H, Akasu T	精神神経科
American Journal of Medical Genetics 2006	Search of susceptibility SNP for schizophrenia in the Pael-R gene.	Mori K, Harano M, Uchimura N	精神神経科
今日の小児治療指針第14版	糖吸収障害	芳野 信	小児科
小児救急学習用テキスト原著	第20章小児救急における法的問題	芳野 信	小児科
Pediatr Int	Late-onset ornithine transcarbamylase deficiency in male patients:Prognostic factors and characteristics of plasma amino acid profile.	Harada E, Nishiyori A, Tokunaga Y, Watanabe Y, Kuriya N, Kumashiro R, Kuno T, Kuromaru R, Hirose S, Ichikawa K, Yoshino M	小児科
日本遺伝看護学会誌	血友病A家系における血縁者間の遺伝情報交換の問題	藤井智恵子、芳野 信	小児科
日本マス・スクリーニング学会	栄養療法で急性期治療を行ったメープルシロップ尿症の1例	岡田純一郎、渡辺順子、平居裕子、神戸太郎、廣瀬彰子、藤野 浩、前野泰樹、芳野 信	小児科
小児科診療	高アンモニア血症の治療	芳野 信、沼田早苗、藤井智恵子	小児科
Neurology	Endothelial dysfunction in MELAS was improved by L-arginine supplementation.	古賀靖敏	小児科
Mitochondrion	MELAS and L-arginine therapy.	古賀靖敏	小児科
Mitochondrion	Mitochondrial tRNA gene mutation in patients having mitochondrial disease with lactic acidosis.	古賀靖敏、植木勲	小児科
Acta Paediatr	Risk factors associated with the need for additional intravenous gamma-globulin therapy for Kawasaki disease.	Muta H, Ishii M, Furui J, Nakamura Y, Matsuishi T	小児科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Cardiol 2	Comparison of efficacy of medium-sized cutting balloons versus standard balloon for dilation of peripheral pulmonary stenosis.	Suda K, Matsumura M, Hayashi H, Nishimura K	小児科
J Leukoc Biol	Ischemia-induced angiogenesis:role of inflammatory response mediated by P-selectin.	Egami K, Murohara T, Aoki M, Matsuishi T	小児科
J Pediatr	Prediction of resistance to intravenous immunoglobulin treatment in patients with Kawasaki disease.	Egami K, Muta H, Ishii M, Suda K, Sugahara Y, Iemura M, Matsuishi T	小児科
Pediatrics International	Emergency stent implantation into obstructed inferior caval vein in a patient with heterotaxy and anomalous hepatic venous drainage.	Suda K, Matsumura M, Nishimura K	小児科
日本小児循環器学会雑誌	冠動脈瘻に対するコイル塞栓術の検討.	伊藤晋一, 須田憲治, 籠手田雄介, 岸本慎太郎, 工藤嘉公, 菅原洋子, 家村素史, 前野泰樹, 加藤裕久, 棚成嘉文, 江上公康, 松村正幸, 松石豊次郎	小児科
筑後小児科医会会報	完全房室ブロックをきたした心筋炎の4歳男児例.	籠手田雄介, 酒井文宜, 岸本慎太郎, 工藤嘉公, 菅原洋子, 家村素史, 前野泰樹, 須田憲治, 松石豊次郎	小児科
Annual Review 循環器 2006	成人先天性心疾患におけるBNPの意義.	姫野和家子, 赤木禎治	小児科
Annual Review 循環器 2006	心房中隔欠損のカテーテル治療.	須田憲治	小児科
子どもは素晴らしい お母さんとお父さんの子育てのために	染色体異常症・その他の症候群.	須田憲治	小児科
小児科診療	川崎病遠隔期の炎症病変, 血管機能・形態, 動脈硬化病変への進行抑制. 特集 川崎病—川崎病を総合的に科学する—	家村素史, 岸本慎太郎, 石井正浩	小児科
小児科診療	巨大冠動脈瘤の抗血栓療法. 特集 川崎病—川崎病を総合的に科学する—	菅原洋子, 伊藤晋一, 工藤嘉公, 須田憲治, 石井正浩	小児科
小児科診療	疫学調査と臨床:早期治療, 年齢, 検査データ. 特集 川崎病—川崎病を総合的に科学する—	牟田広実, 上村 茂	小児科
癌の臨床	下部直腸・肛門管癌に対する究極の肛門救済手術—新たな発想と新展開—	白水和雄	外科
外科治療	下部直腸・肛門管癌に対する肛門救済手術	白水和雄	外科
消化器外科	内括約筋温存超低位前方切除術	白水和雄	外科
Int J Cancer	Efficacy of the MMP inhibitor MMI270 against lung metastasis following removal of orthotopically transplanted human colon cancer in rat	緒方 裕	外科
外科治療	難治性再発乳癌に対する細胞免疫療法とトラスツマブ(ハーセプチン)併用による集学的治療に関する臨床研究	唐 宇飛	外科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Immunol Immunother	Characterization of IL-2-activated ILs and their use in intrapericardial immunotherapy in malignant pericardial effusion	唐 宇飛	外科
日本消化器外科学会雑誌	進行・再発胸部食道癌症例に対するステント治療成績	田中寿明	外科
Artificial Organs	In Vivo Recellularization of Plain Decellularized Xenografts with Specific Cell Characterization in the Systemic Circulation : Histological and Immunohistochemical Study	K. Takagi	外科
Circ J	Initial and midterm results results for repair of aortic disease with handmade stent grafts	S. Onitsuka	外科
ASAIO J	Ten-year NEDO BVAD development program : moving forward to the clinical arena	Motomura T, Oda T	外科
ASAIO J	Development of a clipped sigle-bag with bicarbonate replacement fluid to ensure proper mixing	Okahisa.T, Oda T	外科
ASAIO J	Indirect flow rate estimation of the NEDO PI Gyro pump for chronic BVAD experiments	Ogawa. D, Oda T	外科
Space Utilization Research 22:190-191,2006	宇宙環境で有効な筋骨格系維持装置の研究	志波直人	整形外科
リウマチ科	廃用筋萎縮の取り組み -宇宙医学への応用が期待される電気刺激療法-	志波直人	整形外科
脊椎・脊髄神経手術手技	脊椎・脊髄神経手術手技 内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術の治療経験 片側単椎間に施行した初期30例の検討	佐藤公昭	整形外科
西日本脊椎研究会誌	内視鏡視下腰椎椎間板ヘルニア摘出術(MED法)の初期症例の検討 同一術者が同一時期に行ったLove変法との比較	佐藤公昭	整形外科
Hip Joint	進行期・末期変形性股関節症に対する関節温存手術 Chiari手術の変遷及び治療成績	大川孝浩	整形外科
日本創外固定・骨延長学会雑誌	脚延長術に対する低出力超音波パルス併用の検討	白濱正博	整形外科
Plast. Reconstr. Surg. 117(7): 2414-2423, 2006	Refinements in the Elevation of Reconstructed Auricles in Microtia.	Tai Yoshiaki	形成外科・顎顔面外科
J. Craniofac. Surg. 17(4): 673-679, 2006	A Surgical Treatment of Severe Late Posttraumatic Enophthalmos Using Sliced Costal Cartilage Chip Grafts.	Nishi Yukiko	形成外科・顎顔面外科
Plast. Reconstr. Surg. 118(6): 141e-146e, 2006	Refinement of Operative Method for Single-Stage Treatment of Pectus Excavatum and Heart Disease.	Kiyokawa Kensuke	形成外科・顎顔面外科
日形会誌. 26(11):701-710, 2006	シリコンプロテーゼによる漏斗胸手術の問題点とその適応.	井野 康	形成外科・顎顔面外科
日形会誌. 26(12):821-824, 2006	スキンステプラーにより深部皮下異物を形成した1例の検討.	右田 尚	形成外科・顎顔面外科
J. Craniofac. Surg. 18(1): 208-211, 2007	Surgical Treatment of Pharyngeal Atresia.	Takahashi Nagahiro	形成外科・顎顔面外科
日形会誌. 27(2):133-139, 2007	骨切り術に工夫を加えたまれなCraniofrontonasal dysplasiaの1例.	坂本有孝	形成外科・顎顔面外科
J Neurooncol	Feasibility and response to 1-(4-amino-2-methyl-5-pyrimidinyl) methy-3-(2-chloroethyl)-3-nitrosourea hydrochloride chemotherapy with pre-treated procarbazine for elderly patients with newly diagnosed glioblastoma	Mizuhiko Terasaki, Toshi Abe, Naohisa Miyagi, Etsuyo Ogo, Minoru Shigemori	脳神経外科
機能性食品と薬理栄養	CoQ10の臨床的研究 慢性肝機能障害における酸化ストレス傷害に対するCoenzyme Q10の効果	田中芳明	小児外科
日本臨床外科学会雑誌	小児上腹壁ヘルニア27例の臨床的検討	中溝博隆	小児外科
小児外科	年長児期以降に初診した鎖肛症例の検討	緒方宏美	小児外科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Dermatol Sci. 41(1):21-30,2006	Enzyme-linked immunosorbent assay using bacterial recombinant proteins of human BP230 as a diagnostic tool for bullous pemphigoid.	Yoshida M, Hamada T, Amagai M, Hashimoto K, Uehara R, Yamaguchi K, Imamura K, Okamoto E, Yasumoto S, Hashimoto T	皮膚科
Acta Derm Venereol. 85(6):561-563,2005	Bullous Pemphigoid on Psoriasis Lesions after UVA Radiation. Acta Derm Venereol.	Washio H, Hara H, Suzuki H, Yoshida M, Hashimoto T	皮膚科
Acta Derm Venereol. 85(6):530-532,2005	Paraneoplastic pemphigus with widespread mucosal involvement.	Wakahara M, Kiyohara T, Kumakiri M, Ueda T, Ishiguro K, Fujita T, Amagai M, Hashimoto T	皮膚科
Clin Exp Dermatol 31(2):288-9,2006	Pemphigus foliaceus in a child.	Torrelo A, Hashimoto T, Mediero IG, Colmenero I, Zambrano A	皮膚科
Br J Dermatol. 154(4):779-81,2006	Anti-epiligrin cicatricial pemphigoid initially limited to the upper respiratory tract.	Wozniak K, Waszczykowska E, Hashimoto T, Ishii N, Torzecka JD, Narbutt J, Rogozinski T, Schwartz	皮膚科
Br J Dermatol 154(5):1018-1020,2006	Intraepidermal neutrophilic IgA/IgG anti-desmocollin pemphigus.	Heng A, Nwaneshiud A, Hashimoto T, Amagai M, Stanley JR	皮膚科
Dermatology. 212(4):381-384,2006	A case of epidermolysis bullosa acquisita with autoantibody to anti-p200 pemphigoid antigen and exfoliative esophagitis.	Yamada T, Suzuki M, Koike Y, Kida K, Murata S, Ishii N, Hashimoto T,	皮膚科
Int J Mol Med. 2006 Oct;18(4):619-23.	Coexistence of psoriasis and pemphigoid--only a coincidence?	Lazarczyk M, Wozniak K, Ishii N, Gorkiewicz-Petkov A, Hashimoto T, Schwarz R, Kowalewski	皮膚科
Br J Dermatol 155:1062-1063,2006	A case of epidermolysis bullosa simplex with a newly found missence mutation and polymorphism in the	Hattori N, Komine M, Kaneko T, Shimazu K,	皮膚科
Br J Dermatol 155(5):1048-52,2006	Childhood epidermolysis bullosa acquisita with autoantibodies against the noncollagenous 1 and 2 domains of type VII collagen: case report and review of the literature.	Mayuzumi M, Akiyama M, Nishie W, Ukae S, Abe M, Sawamura D, Hashimoto T, Shimizu H	皮膚科
Int JCO, 11: 390-395, 2006	A survey of patient preparation and techniques for prostate biopsy among Japanese urologists in the Kyushu and Okinawa region	Noguchi M, et al	Urology
Cancer Immunol Immun, 56: 689-698, 2006	Identification of SART3-derived peptides having the potential to induce cancer-reactive cytotoxic T lymphocytes from prostate cancer patients with HLA-A3 supertype alleles	Noguchi M, et al	Urology
Int J Urol, 13: 1296-1303, 2006	Evaluation of prostate biopsy strategy for cancer detection using a computer simulation system with virtual needle biopsy for three-dimensional prostate models	Noguchi M, et al	Urology
Int J Urol, 13: 371-376, 2006	Urodynamic evaluation of a suspension technique for rapid recovery of continence after radical retropubic prostatectomy	Noguchi M, et al	Urology
Int J Oncol, 29: 1555-1560, 2006	Anti-cancer vaccine candidates in specific immunotherapy for bladder carcinoma	Noguchi M, et al	Urology
J Urol, 177: 1157-1162, 2007	Identification of target antigens in specific immunotherapy for renal cell carcinoma	Noguchi M, et al	Urology
J Immunother, 30: 274-281,2007	New Peptide Vaccine Candidates for Epithelial Cancer Patients with HLA-A3 Supertype Alleles	Noguchi M, et al	Urology
Tissue antigens, 69: 95-98, 2007	Expression of APOBEC3G in kidney cells	Noguchi M, et al	Urology
Oncol Res, 16: 341-349, 2007	Combination therapy of personalized peptide vaccination and low-dose estramustine phosphate for metastatic hormone refractory prostate cancer patients: An analysis of prognostic factors in the treatment	Noguchi M, et al	Urology

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Prostate, 67: 933-942, 2007	Immunological evaluation of neoadjuvant peptide vaccination before radical prostatectomy for patients with localized prostate cancer	Noguchi M, et al	Urology
脳と精神の医学	fMRIによる急性期及び回復期の統合失調症者における表情認知の研究	井上雅之 (共著者: 安倍等思)	(画像診断センター)
日獨医報	脳血管障害の治療選択における画像診断の現状	安倍等思	画像診断センター
日獨医報	肝胆膵領域における高精細CT AngiographyとCT Cholangiographyの有用性	内田政史	放射線科
Radiat Med	MR imaging of thymic epithelial tumors: correlation with World Health Organization classification	Atsuo Inoue (共著者: 藤本公則)	(画像診断センター)
Radiat Med	Factors contributing to blood-brain barrier disruption following intracarotid injection of nonionic iodinated contrast medium for cerebral angiography: experimental study in rabbits	Yusuke Uchiyama	放射線科
J Compt Assist Tomogr	High-resolution computed tomographic angiography/computed tomographic cholangiography image fusion of the hepatobiliary system	Masafumi Uchida	放射線科
Asian Journal Oral Maxillofacial Surgery	Argon Plasma Coagulation Therapy for Oral Leukoplakia	Osamu Iwamoto	歯科口腔医療センター
The Kurume Medical Journal	Immunohistochemical Expression of Mina53 and ki67 Proteins in Human Primary Gingival Squamous Cell Carcinoma	KEITARO KURATO	歯科口腔医療センター

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載にあたって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。
2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 加納 龍彦		
管理担当者氏名	診療関係 各診療科部長(別紙1)	管理関係 事務部長 島 靖彦	
	保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	各診療科の 医局資料室 病院資料室 セミアクティブカルテ室 診療情報管理室 外部倉庫	病歴資料については、カルテ・エックス線フィルムその他ともに入院・外来別に、入院については各診療科一連番号を付番 外来についてはID番号にて整理して診療科別分散管理を行っている。 平成15年4月1日に退院した患者の入院診療記録については、診療情報管理室にて管理を行っている。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院管理課	
	高度の医療の提供の実績	病院管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課	
	高度の医療の研修の実績	病院管理課	
	閲覧実績	病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院管理課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院管理課及び薬剤部	
	規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	管理課
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療安全管理部 管理課	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(別紙1)

管理担当者一覧

診療科	閲覧担当者氏名	診療科	閲覧担当者氏名
呼吸器・神経・膠原病内科	相澤 久道	泌尿器科	松岡 啓
消化器内科	佐田 通夫	産婦人科	嘉村 敏治
心臓・血管内科	今泉 勉	眼科	山川 良治
腎臓内科	奥田 誠也	耳鼻咽喉科	中島 格
内分泌代謝内科	山田 研太郎	放射線科	早瀬 尚文
血液内科	岡村 孝	歯科口腔医療センター	楠川 仁悟
精神神経科	内村 直尚	麻酔科	加納 龍彦
小児科	松石 豊次郎	高度救命救急センター	坂本 照夫
外科	白水 和雄	呼吸器病センター	相澤 久道
	青柳 成明	消化器病センター	佐田 通夫
整形外科	永田 見生	循環器病センター	青柳 成明
形成外科	清川 兼輔	内科総合外来	山田 研太郎
脳神経外科	重森 稔	乳腺外科・一般外科総合外来	白水 和雄
小児外科	八木 実	薬剤部	永田 見生
皮膚科	橋本 隆		

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 加納 龍彦
閲覧担当者氏名	診療関係 各診療科部長(別紙2) 管理関係 事務部長 島 靖彦
閲覧の求めに応じる場所	病院会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.4%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	17,353	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	22,952	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,384	人
	D: 初診の患者の数	36,298	人

(注)1 「紹介率」欄は、A、B、C、の和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(別紙2)

閲覧担当者一覧

診療科	閲覧担当者氏名	診療科	閲覧担当者氏名
呼吸器・神経・膠原病内科	相澤 久道	泌尿器科	松岡 啓
消化器内科	佐田 通夫	産婦人科	嘉村 敏治
心臓・血管内科	今泉 勉	眼科	山川 良治
腎臓内科	奥田 誠也	耳鼻咽喉科	中島 格
内分泌代謝内科	山田 研太郎	放射線科	早瀬 尚文
血液内科	岡村 孝	歯科口腔医療センター	楠川 仁悟
精神神経科	内村 直尚	麻酔科	加納 龍彦
小児科	松石 豊次郎	高度救命救急センター	坂本 照夫
外科	白水 和雄	呼吸器病センター	相澤 久道
	青柳 成明	消化器病センター	佐田 通夫
整形外科	永田 見生	循環器病センター	青柳 成明
形成外科	清川 兼輔	内科総合外来	山田 研太郎
脳神経外科	重森 稔	乳腺外科・一般外科総合外来	白水 和雄
小児外科	八木 実	薬剤部	永田 見生
皮膚科	橋本 隆		

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (1名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (1名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無
・所属職員：専任(1)名 兼任()名 ・活動の主な内容： ・医療安全管理対策の立案・計画 ・医療安全管理対策の情報収集と提供 ・医療安全管理対策マニュアルを見直し、追加修正 ・インシデントレポートの提出と分析・フィードバック ・安全対策ポスター提示 ・医療安全管理対策の研修を企画実施	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有) ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) ・ 無
指針の主な内容： ・医療機関における安全管理に関する基本的考え方 ・医療に係る安全管理のための委員会その他医療機関の組織に関する基本的事項 ・安全管理のための職員研修に関する基本方針 ・医療機関における事故報告等の医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ・医療事故発生時の対応に関する基本方針 ・患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 ・患者からの相談への対応に関する基本方針 ・その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 11 回
活動の主な内容： ・事故等の原因究明、患者・家族への説明などの対応状況についての確認・指導 ・インシデントの情報収集・分析・再発防止対策立案・フィードバック ・病棟視察・点検し、改善策の徹底、マニュアル遵守・周知徹底を図る ・医療安全に係る連絡調整 ・医療安全対策の推進	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の開催状況	年 8 回
・研修の主な内容： 全職員対象 5月8日・・・「インフォームド・コンセントの重要性」講師：前田正一先生 9月8日・・・「患者と医療者とのコミュニケーション」講師：岩崎瑞枝先生 6月21日、8月23日、10月18日、12月13日・・・「放射線取扱研修会」 講師：井上浩義先生、早瀬尚文先生、佐川公矯先生 11月8日・・・「みんなで考えよう医療事故防止対策」ビデオ放映 2月27日・・・「転倒転落防止・投薬事故防止」看護部安全委員会委員 その他 新採用者オリエンテーション、輸液・シリンジポンプ勉強会、 医療機器の電氣的安全性、人工呼吸器関連	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	(有) ・ 無
・医療機関内における事故報告等の整備 ・その他の改善のための方策の主な内容： ・患者参加型の安全対策マニュアル ・標準手順書の作成 ・物品の統一化 ・部門間のルール・規則化 ・情報伝達(記載方法、ITの活用) ・事故事例等の活用	

平成18年度TQM職員研修一覧

研修区分	開催日	対象職員	参加人数	時間	内容
第1回TQM(NST)	平成18年 4月25日(火)	全職種	55	1時間	「2005年度NST活動の経過報告」
第2回TQM(安全)	平成18年 5月 8日(月)	全職種	361	1.5時間	「インフォームドコンセントについて」:前田正一(東京大学大学院医学系研究科)
第3回TQM(パス)	平成18年 5月19日(金)	全職種	187	1時間	廃棄物の取扱い、個人情報保護法について
第4回TQM(感染・NST)	平成18年 5月26日(金)	全職種	302	1.5時間	1「平成17年度感染管理大賞授賞式」 2「平成17年度リンクナース活動報告」:教育、感染技術、サーベイランス、環境管理、職業感染各グループ 3「NSTに必要な栄養知識」:田中芳明先生(小児外科)
放射線安全取扱研修 (4回同内容で開催)	① 平成18年6月21日	全職種	204	1.5時間	「法令と放射線物質の安全取扱いについて」:井上浩義教授
	② 平成18年6月23日	全職種	348	1.5時間	「医療放射線の安全取扱いについて」:早淵尚文教授
	③ 平成18年10月18日	全職種	471	1.5時間	「放射線安全管理システムについて」:佐川公嬌教授
	④ 平成18年12月13日	全職種	530	1.5時間	
第5回TQM(パス・NST)	平成18年 6月27日(火)	全職種	230	1.5時間	「放射線療法と看護ケア」・「口腔ケア」
第6回TQM(NST)	平成18年 7月25日(火)	全職種	138	1時間	「消化器疾患の栄養管理」:居石哲治先生(消化器内科) 「胆膵領域癌術後の管理」:石川博人先生(外科)
第7回TQM(安全)	平成18年 9月 8日(金)	採用の看護	167	1.5時間	「患者と医療者のコミュニケーション」:岩崎端枝(化学技術振興機構研究員)
第8回TQM(パス・NST)	平成18年 9月26日(火)	全職種	173	1.5時間	「せん妄の理解-治療と対応について」:恵紙英昭(精神神経科) 「サプリメント(健康食品)と薬の関係」:松本浩一(薬剤師) 「精神科治療とカウンセリング」:高松真理(心理療法士)
平成18年度久留米大学病院 院内救急蘇生法講習会	平成18年10月13日(金)	全職種	200	1時間	「AEDを用いた心肺蘇生法」:最初純平(救命救急センター)
	平成18年10月14日(土)	希望者	110	4時間	「BLS(一次救命処置)+AED実習」
	平成18年10月21日(土)	BSL講習 会受講者	96	4時間×2	「ICLS(二次救命処置)実習」
第9回TQM(パス・NST)	平成18年10月20日	全職種	121	1.5時間	「診療記録としてのクリニカルパス」:松隈孝文(診療情報士) 「患者さんにあった食事の選び方」:大塚由香里(栄養部) 「食事オーダーと入院食事療養費」:下川忠弘(情報システム室)
褥瘡対策講習会	平成18年10月23日	全職種	153	1時間	「褥瘡ハイリスク患者ケア加算の対応について」:海田真治子
第10回TQM(安全・NST)	平成18年11月28日	全職種	229	1.6時間	「みんなで考えよう医療事故防止対策」:ビデオ放映(企画 東京大学医学部附属病院) 「医療訴訟の現状と対策」:小林弘幸(順天堂大学医学部 病院管理学教授)
第11回TQM(感染・褥瘡)	平成18年12月12日	全職種	211	1.5時間	「褥瘡ハイリスク患者ケア加算の対応について」:海田真治子 感染(演題未定)
第12回TQM(パス)	平成19年1月19日	全職種	139	1.5時間	パス大会
第13回TQM(安全・NST)	平成19年2月27日	全職種	203	1.5時間	・「転倒転落防止・投薬事故防止」:看護部安全委員会活動報告 ・「再吸収する臓器としての腎」:腎臓内科 医師 玉置清志
第14回TQM	平成19年3月16日	全職種	96	1.5時間	TQM大会(各委員会より、「TQMとは」)大会

平成18年度看護部研修

研修区分	開催日	対象職員	参加人数	時間	内容
看護部オリエンテーション	平成18年4月5日	新採用の 看護師	55	1時間	医療安全について。インシデントレポート(記入基準):(GRM)
	6日			1時間	院内感染について (看護部)
	7日			1時間 2時間	廃棄物の取扱い、個人情報保護法について 演習「採血」
看護部新人研修	平成18年4月25日	新採用の 看護師	50	3.5時間	輸血について(臨床検査部) クリニカルパスについて(看護部) 処方箋の見方・麻薬について(看護部)
看護部新人研修	平成18年5月16日 17日	新採用の 看護師	41	3.5時間	演習「輸血の取り扱いについて」 演習「麻薬の取り扱いについて」 「ヒヤリハット」グループワーク
看護部新人研修	平成18年6月5日	新採用の 看護師	51	3.5時間	「これだけは知っておきたい、ポータブル撮影・MRI検査」:坂口太郎(画像診断セ) 「新人看護師のストレスマネジメント」:豊増功次(健康、科学スポーツセンター)
看護部新人研修	平成19年1月23日	新採用の 看護師	48	3.5時間	・1年目を振り返って・1年目看護師のインシデント分析報告 ・ヒヤリ、ハット! KYTにて
輸液・シリンジポンプ 勉強会	平成18年5月5日	新採用の 看護師 各病棟の 指導者	90	1.5時間	輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱い方 (臨床工学センター技師長:戸畑裕志)
	15日			1.5時間	
	16日 17日			1.5時間	
臨床工学セミナー	平成18年6月12日	看護師	85	1時間	医療機器の電気の安全性
	14日			1時間	(臨床工学センター技師長:戸畑裕志)
	平成18年6月19日			1時間	医療ガス使用時の安全性
	22日			1時間	(臨床工学センター技師長:戸畑裕志)
臨床工学セミナー 人工呼吸器関連勉強会	閉止得18年9月4日	看護師 6回コース	25	2.5時間	人工呼吸器と感染制御 (臨床工学センター技師長:戸畑裕志)
	6日			2.5時間	
	11日			2.5時間	
	13日			2.5時間	
	20日 25日			2.5時間	
	平成18年10月2日	看護師 6回コース	22	2.5時間	人工呼吸器と感染制御 (臨床工学センター技師長:戸畑裕志)
	4日			2.5時間	
	11日			2.5時間	
	16日			2.5時間	
	18日 23日			2.5時間	
看護部研修	平成18年4月20日	看護師	266	1時間	「病院の方針」:病院長 前田 久雄 「看護部の方針」:看護部長 大坪明美
	平成18年5月18日	看護師	256	1時間	「現在の医療情勢と病院の現状」三浦武博(病院事務部長) 「診療報酬について」樋口洋光(医事課次長)
	平成18年6月15日	看護師	243	1時間	「災害医療の現状」:山下典雄(救命センター) 「災害派遣医療チーム(DMAT)研修に参加して」久保田倫代、梅木道(看護師)
	平成18年7月13日	看護師	188	1時間	「臨床実習における看護技術の学習レベル」:野村志保子(看護学科長)
	平成18年9月14日	看護師	176	1時間	寝たきり予防に向けて 「ベッド上での関節・筋力の運動」
	平成18年10月12日	看護師	233	1時間	「ストレスと上手く付き合う」:豊増功次(健康・スポーツ科学センター)
	平成18年11月22日	看護師	159	1時間	「癒しの食事:「とりすぎ」と「不足」は健康の敵」
	平成18年12月14日	看護師	206	1時間	「逝去時の対応について」
	平成19年1月18日	看護師	187	1時間	「看護研究発表(院外発表分)」
	平成19年2月15日	看護師	222	1時間	「院内急変時の対応」
平成19年3月19日	看護師	186	1時間	18年度 学会・研究会 発表報告	
計			3044		

診療部研修

研修区分	開催日	対象職員	参加人数	時間	内容
臨床研修医オリエンテ (前期)	平成18年4月3日 4日	新規臨床研	58	0.5時間	院内感染対策
				0.5時間	処方箋と医薬品の取扱い
				20分	カルテ及び診断書の書き方
				60分	輸血療法について
				30分	久留米大学病院の医療安全管理について
				40分	医療事故を防ぐために
				2時間	採血(技術演習) その他
臨床研修医オリエンテ (後期)	平成18年9月19日	臨床研修医	58	2.5時間	保険・安全・感染について(院内講師) その他
計			116		